



あがら☆たなべ調査隊
隊長 池田 周作 さん

「かつてのまちのにぎわいを少しでも取り戻せるように、平成20年に『あがら☆たなべ調査隊』を結成し、スイーツ・麺・ランチといったテーマ別に手作りマップを作りました。まち中を歩いて、いろんなお店をもっと楽しんでもらおうという企画です。調査隊のメンバーは、それぞれ仕事を持っていながらボランティアで活動してくれる人ばかり。何と言っても『田辺が好き!』なんですよ」



調査隊員自らが、収集した情報を元に取材、制作まで全て行った手作りマップです。和歌山大学南紀熊野サテライトのスタッフがイラストを描いてくれるなど、様々な人の協力と応援が集まりました。

"agara ☆ tanabe research-team" is an organization formed in 2008 by young local volunteers. It seeks to increase the liveliness of Tanabe City and spread word of its many charms.

歩いて分かる「まち」の魅力



コンペティション部門では、審査員に映画有識者と映画検定1、2級合格者を迎え、「弁慶グランプリ」「映検審査員賞」を決めます。市民や観客も投票することができ、受賞作品が翌年都内で上映される点も特徴です。

近野(近露・野中)地域は、世界遺産である熊野古道の滝尻王子から熊野本宮大社までの中間部にあり、古くから熊野詣での宿場町として栄えた地区。そんな近野をもっと知ってもらおうと活動している人たちがいます。

「熊野の観光案内や歴史の紹介ができる休憩所があればと考えていました。ちょうどその頃、日本画家「野長瀬晩花」の生家を残そうという話があり、修復整備して『近露観光交流館(ちかの平安の郷かめや)』として平成25年7月にオープンしました。地域の人々と観光客との交流の場となっています」



高菜の漬物づくりやエコクラフトなどのものづくり体験を観光客が地元の人と一緒にしたり、俳句会に参加したりと、にぎわっています。また1ターンの若者たちがジビエ料理に着目し、ビジネスにつながる取組も行っています。

The Chikatsuyu Tourism Salon (Chikano Heian-no-Sato Kameya) is a rest place where local residents share historical and tourist information with visitors. Created to foster exchange between locals and tourists, it is located in the childhood home of the famous painter Banka Nonagase.

地域の人と観光客との交流の場

に1ターンの若い世代も加わり、様々なイベントを企画し、実行しています。



ちかの平安の郷推進協議会
会長 久保 智彦 さん

映画祭を通じて、交流人口の増加と映画文化の振興を図ることで、田辺市へ来訪された映画関係者と市民とのコミュニケーションが活発になり、それが地域活性化につながるようにと「田辺・弁慶映画祭」が平成19年10月に初めて開催されました。以来、毎年回を重ねるうちに、商業映画デビューを果たす監督が輩出されるなど、新人映画監督の登竜門となる映画祭として評価が高まっています。

当初、スタッフは地元の有志が大半で、手作り感覚の映画祭でしたが、着実にその内容は濃いものとなり、近年では応募作品の増加に比例して、コンペティションのレベルも高くなっています。

映画祭を通じて、交流人口の増加の取組なども充実してきました。

映画祭実行委員長の中田さんは「子供からお年寄りまで幅広い年代の方々が映画に興味を持ってくださるとうれしいです。1年を通して公民館やいろんな施設で映画の上映会をするなどして大きく広げていき、多くの映画ファンを田辺市に集めたいですね」と話します。

文化的事業はすぐに経済効果に結び付くものではありませんが、そういった意識の向上は、やがて大きなうねりを作り、まちを活性化していく力を生み出していくことになりそうです。

Since 2007, the Tanabe Benkei Festival has been held annually. The highly acknowledged festival has introduced works that make a commercial film debut.

映画祭を通して地域の文化的活性化を



田辺・弁慶映画祭 実行委員会
実行委員長 中田 吉昭 さん